



会場アクセス

和歌山県勤労福祉会館 プラザホープ
〒640-8317 和歌山市北出島 1-5-47
TEL. 073-425-3335

[JR和歌山駅より]
車で…約5分 徒歩で…約15分
バスで…約5分 (バス停「北出島」下車)
<JR和歌山駅西口バスターミナル>
1番のりば (40-41,42-43,50-51,52系統)

[南海和歌山市駅より]
車で…約15分
バスで…約15分 (バス停「北出島」下車)
5番のりば (40, 41, 42, 50系統)
6番のりば (50系統)

参加申し込み方法

FAX、郵送の場合⇒麦の郷総合支援センター (担当：島) へ
Eメールの場合⇒carecare@popo.or.jp へ (件名に「セミナー申込」と明記してください)
※たんぼぼの家ホームページからお申し込みいただけます (http://popo.or.jp)。

ケアする人のケアセミナー 参加申し込みフォーム **FAX 073-427-3307**

※□に印をつけてください。

ふりがな		ご所属 (よろしければ、活動先・活動内容などをお書きください。特になければ記入不要です)	
お名前			
ご住所 (□ご自宅/□勤務先等)			
TEL (□ご自宅/□勤務先等)		FAX (□ご自宅/□勤務先等)	
Eメール (□ご自宅/□勤務先等)		手話通訳希望 <input type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後 (分科会)	
分科会の選択希望	第1希望・・・	<input type="checkbox"/> 分科会1	<input type="checkbox"/> 分科会2 <input type="checkbox"/> 分科会3 <input type="checkbox"/> 分科会4
	第2希望・・・	<input type="checkbox"/> 分科会1	<input type="checkbox"/> 分科会2 <input type="checkbox"/> 分科会3 <input type="checkbox"/> 分科会4
弁当注文 (700円)	<input type="checkbox"/> 注文する (当日、弁当代を申し受けます)	交流会 (500円)	<input type="checkbox"/> 参加する (当日、参加費を申し受けます)
	<input type="checkbox"/> 注文しない		<input type="checkbox"/> 参加しない

※ご記入いただいた個人情報は、本セミナーの受付事務においてのみ利用させていただきます。
※分科会は先着順です。第一希望の分科会にご参加いただけない場合はご連絡いたします。

ケアする人のケアセミナー

支え合いの地域づくり

超高齢社会に入り、一人ひとりの生き方をどう支えるかが社会全体の課題です。しかしながら、医療や福祉の制度が整えられサービスが多様化する一方で、ケアをになう人の心身の負担は大きく、疲れやストレスをため込み苦悩することも少なくありません。苦悩は孤立することによってますます深くなり、ケアする人もケアされる人も大きな痛みを抱えることにつながります。

それを防ぐためには、人々がおたがいに興味を持ち、支えあう仕組みをつくる必要があります。また、ケアの重要性や、奥深さを社会全体で共有することで、ケアする人が希望をもち、よりよいケアへの原動力にしていくことも大切です。

このセミナーではいろいろな学びや体験を通して、ケアのあり方や、ケアする人のサポートについて考えます。さまざまな実践に触れ、新しい考え方に会うことで、おたがいを尊重し、支えあう文化の土壌づくりへの契機したいと思います。

日時	2013年2月16日(土) 10:20~15:30 ※交流会 16:30まで
会場	和歌山県勤労福祉会館 プラザホープ 和歌山市北出島1-5-47
主催	財団法人 住友生命社会福祉事業団、財団法人たんぼぼの家
実施主体	ケアする人のケアセミナー和歌山実行委員会
後援	和歌山県、和歌山市、和歌山県社会福祉協議会、和歌山市社会福祉協議会、(特活)わかやまNPOセンター、和歌山県平和フォーラム

参加費無料
定員**300名**
要申込
手話通訳
あります

**お申し込み
お問い合わせ**
麦の郷総合支援センター (担当：島)
〒640-8331 和歌山市美園町 5-5-3
TEL: 073-427-3313 FAX: 073-427-3307

ケアする人のケアセミナー プログラム

※諸事情により、プログラムの一部を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



10:00~10:20 …… 受付

10:20~10:30 …… 開会あいさつ

10:30~10:40 …… オープニングアトラクション

10:40~11:30 …… **「関わりあいと生きる力」**

基調講演

大きな生命観に立ったとき、お互いの存在や関係が全く違って見えてきます。自然農の実践を通して人と人、人と自然、人と社会の関わり、そしていのちを慈しみお互いを尊重する心のあり方について考えます。

中井弘和 (社会福祉法人静岡いのちの電話理事長、清沢塾主宰)

静岡大学名誉教授。NPO法人「自然農法文化事業団」技術顧問。「清沢塾」主宰。自然農法を通して農業の可能性を追求するとともに、稲や人のいのちのありようを探る。

11:30~12:20 …… **「ケアリング・ソサエティ」**

スピーチ

ケアされる人がケアし、ケアする人がケアされる。強いものが一方的に助けるのではなく、相互的な関係性の中でケアは成り立っています。支えあいの地域づくりをめざし、ケアの文化を創造する視点を提案します。

播磨靖夫 (財団法人たんぼぼの家理事長)

障害のある人たちの生きる場「たんぼぼの家」づくりを市民運動として展開し、アートと社会の新しい関係をつくる「エイブル・アート・ムーブメント」を提唱。「アートとケア」「ケアする人のケア」の研究を通して、ケアの文化の創造に取り組む。平成21年度芸術選奨文部科学大臣賞(芸術振興部門)受賞。

12:20~13:30 …… 休憩

13:30~15:30 …… **分科会 (右記よりお選び下さい。先着順)**

15:30~16:30 …… **交流会 (参加費 500 円)**

お茶、ジュース、お菓子をご用意しています。セミナーの感想や情報交換など自由に語らう場ですので、どうぞ気軽にご参加ください。



分科会

1

ケアする人が元気になる環境づくり

ケアする人の心身が健康であってこそ、質の高いケアを提供することができます。家庭や職場でケアする人がひとりで問題を抱え込まず、いきいきと生活できる、おたがいに支えあう環境作りについて考えます。

大竹 美知世 (特定非営利活動法人生活支援センターもちつもたれつ理事長/奈良県大和高田市)
ながた かずこ (NPO 法人コミュニケーションサポート かるっちゃアカデミー代表/和歌山市)
岩橋 秀樹 (社会福祉法人つわぶき会本部長/和歌山市)
コーディネータ: **森口 弘美** (財団法人たんぼぼの家/奈良県奈良市)

分科会

2

人として人を世話する

ケアとは本来、おたがいを大切に思う関わり合いのことです。ところが、制度化・サービス化がすすむにつれて、人間らしい関わり合いがそぎ落とされてしまうことがあります。それはケアに関わるあらゆる人に、無力感やストレスを生じさせることにつながります。人が人として生きるためのケアのあり方を、家族および専門職の立場から考えます。

大島 信夫 (和歌山県精神保健福祉家族会連合会障害者施策推進委員長/海草郡紀美野町)
古梅 智己 (特別養護老人ホームみどりヶ丘ホーム施設長/和歌山市)
コーディネータ: **鳥海 直美** (四天王寺大学人文社会学部人間福祉学科准教授)

分科会

3

ケアにおけるアートの可能性

アートには、ものごとのイメージや固定観念を揺さぶり、時には覆してしまう力があります。では、ケアにアートを持ち込んだら何が起きるのでしょうか。あるいは、アートをとおしてケアを見直したら、どんな風景が見えてくるのでしょうか。さまざまな表現活動の取り組みが、ケアのあり方やケアする人に与える影響と可能性を探ります。

鈴木 悦子 (社会福祉法人一麦会むぎピーススタッフ/和歌山市)
中野 千世 (地域生活支援センター櫻-さくら-/和歌山市)
コーディネータ: **播磨 靖夫** (財団法人たんぼぼの家理事長/奈良県奈良市)

分科会

4

癒やしと気づきのダンスワークショップ **定員 20名**

コミュニケーションの90%は身振りなどの非言語的な方法によってなされています。言葉に依存しがちな日常から離れて、身体が本来もつ力を取り戻すためのワークショップです。

講師: **佐久間 新**
ジャワ舞踊家。伝統舞踊におけるからだのありようを探求する中から、ダンスの可能性を問い直している。2004年より、障害のある人とのワークショップ、高齢者施設でのワークショップを展開。